

## シンポジウム

## 大振幅地震動に対する取り組みの総括と残された課題

日本建築学会近畿支部耐震構造部会では、2006 年度より上町断層帯によって生成されるようなパルス性地震動を中心として、大振幅地震動の特徴、建物の応答特性、必要な耐震対策に関わるシンポジウムを開催してきた。本シンポジウムでは、過去 15 回のシンポジウムを総括し、研究・技術開発の進展と現状を振り返るとともに、残された今後の課題について議論する。

- ・主 催：(一社) 日本建築学会近畿支部 耐震構造研究部会
- ・共 催：(一社) 日本建築構造技術者協会 関西支部 (JSCA 構造士更新点数申請中)
- ・日 時：2022 年 12 月 13 日 (火) 13:00 ~ 17:00
- ・場 所：大阪科学技術センター 8F 大ホール (大阪市西区靱本町 1 丁目 8-4、TEL 06-6443-5324)

## プログラム：

## 司会

笹元克紀 (大林組)

## 1. 主旨説明

林 康裕 (京都大学)

## 2. &lt;基調講演&gt;大阪で想定される大振幅地震動

入倉孝次郎 (京都大学名誉教授)

## 3. 大振幅地震動に対する耐震構造部会の取り組み

林 康裕 (京都大学)

## 4. 大振幅地震動に対する基礎・地盤の課題

柏 尚稔 (大阪大学)

----- 休憩 -----

## 5. 大振幅地震動に対する実務者の課題

多賀謙蔵 (日本建築総合試験所)

## 6. 都市防災の観点から見た大阪の被害と取り組み

牧 紀男 (京都大学)

## 7. パネルディスカッション

司会 杉野未奈 (京都大学)

大振幅地震動に対する取り組みの現状認識と  
残された課題

吉田 聡 (日建設計)

話題提供 青木和雄 (竹中工務店)

## 8. まとめ

柏 尚稔 (大阪大学)

定 員：200 名 (申込み先着順)

テキスト代：2000 円 (クレジットカードによる事前決済) ※テキストは当日会場にて頒布します。

申込・支払方法：日本建築学会のホームページからお申し込みください。

※領収書は日本建築学会のホームページにて発行します。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=667334>

申込締切：2022 年 12 月 9 日 (金)

問合せ先：日本建築学会近畿支部 TEL: 06-6443-0538 , FAX: 06-6443-3144

E-mail : [aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp](mailto:aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp) , HP : <http://kinki.aij.or.jp/>

## 交 通：

- ・四つ橋線 本町駅  
28 号出口より徒歩 5 分
- ・御堂筋線 本町駅  
2 号出口より徒歩 8 分

